

自主ボランティア活動報告書

※全項目を記入してください。

活動日	令和7年10月17日～18日	天気	晴れ
氏名		登録番号	1153

〈活動場所・行程〉

10月17日：駒ヶ岳登山口～会津駒ヶ岳～中門岳～駒の小屋泊

10月18日：駒の小屋～大津岐峰～大杉岳～尾瀬御池

〈具体的な活動内容〉

両日とも、登山に合わせて登山道の清掃活動を実施した。

- ・会津駒ヶ岳までの行程では、ゴミは一つだけ（お茶のスティック袋の切れ端）だったが、中門岳では落とし物・忘れ物（手袋など）があったので、小屋に預けた。
- ・富士見林道では、小屋で購入したお土産の包装袋（封筒様のもの）、大津岐峰ではバナナの皮が入ったビニール袋を拾った。

〈現地の状況（混雑度（木道上を絶えず人が行き交う等具体的に）・植物・木道等）〉

- ・17日は、平日であったが、好天だったせいか、そこそこ登山者は多かった。
- ・18日は、小屋に泊まって御池方面に行く人はほかにいなかったと思われるが、富士見林道ではキリンテから登ってきた人1名、大杉林道では御池から登ってきた人4名とそれ違った。いずれも初心者という印象は受けなかった。
- ・草紅葉及び木々の紅葉・黄葉はちょうどよい色づきだったが、秋の花はほぼ終わっていた。
- ・中門岳への木道は、行程の途中からかなり傷んでいるところがあり、補修が必要と思われた。特に中門岳を往復する人は多いため、傷んだ木道から外れて歩いた跡も多く残され、湿原保護の観点からも早めの対応が必要である。
- ・大杉林道は、木道もなくぬかるんでいるところが多くみられ、木道の設置が必要と思われた。

〈ふりかえり（反省と改善方法、気づいたことなど）〉

上記の内容とは関係ないが、トイレの協力金をどれだけの人が寄付しているのか気になった。トイレ前に募金箱を置いても、そもそも現金の持ち合わせのない人も多いだろうし、募金箱に気づかない人も多いのではないか（リピーターはわかっているだろうが、一見さんのような人は協力金のことも知らないのではないか）。スマホ決済ができるところを増やす、募金箱をもっと目立つようにする、鳩待峠や大清水・一ノ瀬などのポイントでも協力を呼び掛ける看板を設ける、鳩待峠行き・一ノ瀬行きのバス・乗合タクシーなどでも自動音声で呼びかける等の取組を検討はどうかと思うとともに、入山料の検討も加速させるべきではないかと思った。

※報告内容のホームページ・機関誌等への掲載について（報告者は登録番号のみ表示）

• 否 (いずれかに○を付けてください)

(公財) 尾瀬保護財団